

男子・浦添 女子・コザ栄冠



男子決勝 浦添一具志川商 後半、中央から浦添の比嘉信吾が20点目のシュートを決める＝東風平体育館(古謝克公撮影)

ハンドKBCC杯

選抜大会に出場する男子の興南、コザ、女子の浦添、那覇西を合わせた各4校が、夏の県高校総体のシールド権を得た。

【男子】
▽決勝
浦 33(16) 26 具商
コザ 28(16) 10 名護

【女子】
▽決勝
浦 33(16) 17 9 26 具商
コザ 28(16) 6 10 名護

2人退場乗り切る 浦添

男子浦添は後半、2人が退場となった時間帯をチーム一丸となって守りきり、具志川商業を33―26で下し優勝を飾った。

前半、6―6のシーソーゲームから浦添が抜け出した。1年生の比嘉信吾がポストと連携して、具商をサイドから切り崩し、連続得点で流れを引き寄せた。ディフェンスでは友利真人、GK川上太一ら2年生が奮起した。友利は「相手エースをマークできたと思っ」と手心え。

川上は連続好セーブでゴールを守り16―9で折り返した。

後半は一転、ファウルで退場者が相次ぎピンチを招いた。一時は2人を欠いたが「声を出し合おう」と確認。パスを回し、気持ちを切り替えずに何とか持ちこたえた。チーム最多得点の比嘉は「優勝に満足しないで、他の強豪校にも負けたくない」と意気込み。友利も「夏も決勝の舞台に立ちたい」と具総体に向けたさらなる飛躍を誓った。(勝浦大輔)

得意の速攻光る コザ

女子はコザが名護を28―10の大差で下し、栄冠を手にした。

チームカラーの速攻でポスト當真貴和子を中心に得点を重ねた。當真は「一番早くボールをもらえるよう、出だしから意識した」とディフェンスを巧みにか

わし、前半だけで8得点を挙げた。コザは6―4から失点を許さず、10連続得点で名護を圧倒した。

前半は調子が上がらなかった1年生の仲間結香は、金城豊子コーチに「もっと積極的にシュートを打とう」と送り出され、後半に4得点し、優勝に貢献した。當真は「具総体までに修正したい」と気を引き締めた。



女子決勝 コザ一具志川商 前半、コザの當真貴和子が8点目のシュートを決める(金城健大撮影)

「オフェンス、ディフェンスともミスが多すぎる。やってきたことが全くできていなかった」と厳しい表情。

混戦時のコミュニケーション不足など課題を指摘した。當真は「具総体までに修正したい」と気を引き締めた。